

平成9年12月8日

「豊島区立小・中学校の適正化第一次整備計画」統合時期を一部変更

～平和小と要町小の統合を1年繰上げ平成11年4月に～

豊島区立小・中学校の適正化第一次計画を進めている豊島区教育委員会は、このほど計画の中の、要町小学校と平和小学校の統合を当初計画より1年繰上げ、平成11年4月に変更することを決定した。

平和小学校は、全校6学級の単学級であり、特に、入学児童は、本年度2名となっており、来年度以降も少人数になると予測されている。また、要町小学校も、全校で265名、9学級と学年によっては、単学級となっており、小規模化が進んでいる。

このような現状から、両校保護者をはじめ、多くの学校関係者や地域住民から、早期統合を望む声があがってきている。9月に発足した要町小学校・平和小学校統合推進協議会（会長和田健男氏）からも「両校の小規模化がもたらす教育上及び学校運営上の弊害を早急に解消するため、統合を1年早めてほしい」との、繰上げを望む要望があった。

区では、これを受け、当初2か年を予定していた、統合新校となる要町小学校校舎の耐震工事等の見直しを図った結果、平成10年度の1か年で施行できる見通しとなったことから、統合を1年早めて実施することとしたものである。

豊島区は、今年1月、少子化の進行や人口の流出などを背景に、区立小中学校の児童・生徒数が減少し、学校教育環境上の問題が顕在化している現状を踏まえ、平成4年4月に出された「区立学校の適正規模等に関する審議会」答申を基本的に尊重しながら、答申後の状況変化を取り込んで、平成9年度から平成18年度までの10年間で、小中学校17校を8校へ統合する整備計画を策定した。本年4月より、学校適正担当課を設置して、住民説明会を開き、地元との協議を進めている。

詳細：教育委員会学校適正配置担当課長